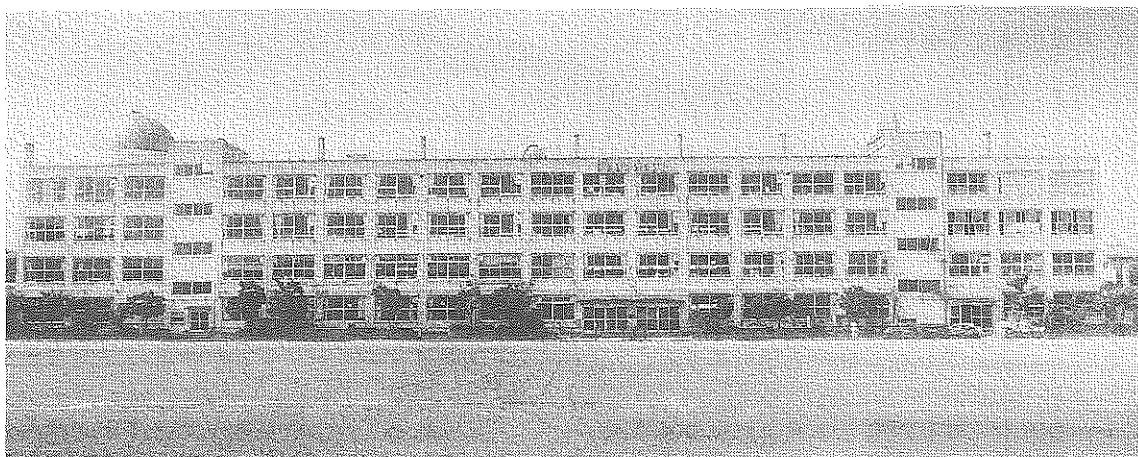


弦の子

NO.1 1994.10.

弦巻中学校同窓会誌



撮影 平成6. 8

「母校」と「同窓生」

同窓会会長 新川 勝二

第一回総会からもう三年たちました。

卒業生名簿の作成と、組織づくりができましたのは役員の皆様のご努力と、卒業生の皆様のご協力とご理解によるものと、心から感謝しています。

弦巻中学校の山口校長先生、小池前校長先生はじめ沢山の先生方の全面的協力をいただきました。

名簿作りに関しては、代表幹事の本田さんに大変なご苦勞をおかけしました。

第一回総会に弦中在校生の皆さんに宛名書きをしていただき協力していただいたことは忘れられません。

「母校」というと誰の言葉でしたか「かつて学生生活を共通した者同志が、心の故郷として懐かしむところ」と言う言葉が思い出されます。「母校」という存在は不思議な力で、



人々をひきつけ続け、「同窓」つまり「同じ学校で、師に学んだこと、共に学んだこと、共に学んだ人」の存在は、いつも人々の心を過去、現在、未来へ駆り立てます。

また、生涯の友には中学、高校の友人が最も多いといえます。駆け引きもなく、打算もない。一瞬にして童心に帰れるそういう交友関係が楽しい。

同窓生が一人を越えた現在、地域の中で同窓会のあり方を皆様と共に考えてゆきたいと思えます。

来年は弦中が40周年を迎えます。弦中がますます発展充実するように、母校の事業に対して、後援、協力を積極的に対応したいと思います。

「山口校長に聞く」

—弦巻中学の現況—

聞き手 同窓会会長 新川勝二
1994. 7. 30 校長室にて



S いつも同窓会にご協力有難うございます。今年の11月に第二回同窓会総会が開催されるわけですが、それに先立ち、同窓会の会誌「弦の子」を創刊することになりました。

今日は、弦巻中学の現在の様子などを、山口校長先生にお伺いしたいと思います。

山口校長先生は弦巻中に来られる前は瀬田中学におられたそうですが、弦中の印象について聞かせて下さい。

Y 前任校、瀬田中は校舎が台地にあり、正門から入ると、学園という感じがします。

弦巻中学を見たときの第一印象は普通の学校で、大規模と言うか、生徒の質で勝負する感じでしたね。

同好会活動も盛んだし、生徒が多いということは、地域の子供達が沢山入学し、それに教職員が応えていることだと思います。

S 瀬田中には立派なテニスコートがあるようですが。

Y テニスコートは3面あります。弦中にはありません。ではレベルはどうかといいますと、コートを持ってない弦中の方が勝っているみたいです。

S いま、生徒数は何名いるのですか。

Y 全校で、男子345名、女子294名、合計639名です。

更に詳しくいいますと、

一学年 男子103名、女子 94名、
合計197名で5クラス。

二学年 男子 99名、女子 92名、
合計191名で5クラス。

三学年 男子120名、女子 99名、
合計219名で6クラス。

I組 男子 23名、女子 9名、
合計32名。

職員数は校医、薬剤師まで入れて69名です。(平成6年4月1日現在)

S 私たち(第一期)の卒業のころは三学年は2クラスで、先生と生徒のコミュニケーションでは、先生が生徒の中に入り込んでくれました。最初はおんぼろ校舎で生徒も寄せ集めですから、不安の中にも先生とコミュニケーションを作る努力をしていました。

現在の先生方の対応はどんな様子ですか。

Y 弦中の創立当時の昭和三十年代、私自身は昭和36年に教職についたわけですが、生徒、教職員、保護者が一体となり全体が動いていた。つまりこどもの教育は学校に任せるという考えが確立されていたし、こどもたちにとって学校が中心であり、やすらぎの場所であったといえます。

一般的には現在は環境が変化し、他に生徒たちの行き場ができ、生徒と教職員、保護者間のコミュニケーションが希薄にならざるを得ない状況です。

先生もマスコミなどからサラリーマン化していると言われるそうですが、今日(夏休み中なのに)も学校にきて生徒たちと活動しています。けっしてサラリーマン化しているわけではないのですが、先生にとっても学校に目がむいていない時代です。しかし、弦中の先生方は大変熱心に対応してくれており、大変感謝しています。

昔、元旦サッカーと言って、元旦に生徒を集めてサッカーをやった時代もありました。

生徒も喜んで登校するのです。今では考えられません。

S 話しは変わりますが、創立当時の弦中は木造のおんぼろ校舎、親が教育環境整備に熱心に対応し、先生とPTAが一体になって活動していましたが現在はどのようなのでしょうか。

Y 学校は家庭の理解があって効果が上がります。昔も今もこの関係は変わっていないし、変わってはいけないと思います。この関係がうまく行っているのが良い学校と言えます。

S 問題児の噂は聞きませんが如何ですか。

Y 生徒が多いから問題がないわけではないが、生徒たちによる自浄作用があり、突出してはいません。中学生で反社会的行動はまると自浄作用が働かなくなってしまうので、その点が要注意です。

S 弦和会会長の時に感じたのですが、先生方の対応が非常に早く、悪い芽を小さいうちに摘むという、とても熱心さを感じました。

Y その通りです。

先日も、ある公園で高校生に絡まれているという通報を受け、弦中の先生が飛んで行って救護したのですが、弦中の生徒ではなく他校の生徒だったので、その生徒の中学からお礼の電話を貰いました。弦中の生徒がたむろしていると連絡を受けたときも早く対応するようにしています。先生の早い対応は、生徒も感じ取り、効果が高いのです。

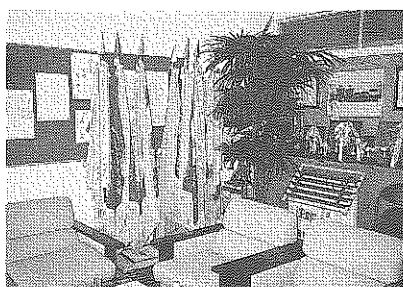
S 創立当時もスポーツ、文化活動に熱心でした。今もスポーツが盛んなようですね。部活は他校に比べてどうなんですか。

Y 2年間見てきまして、部活に対する熱意は感じます。これは伝統でしょう。とても熱心です。

S 校長室にはたくさんの優勝旗があります、これで進学率がよければ言うことないですね。

Y 勉強面でも、英語検定、漢字検定の試験も積極的に受けさせるようにしています。私も漢字検定の三級をうけて、合格点ぎりぎりでしたよ。

進路についても先生方が熱心に指導してくれており、頭の下がる思いです。



校長室にはたくさんの優勝旗 優勝杯

S 毎回、同窓会役員会に出席して下さっていますが、同窓会についての感想を聞かせて下さい。

Y 第一は皆さんが自分の母校に対して、愛校心が強いこと、それから学校の情報を気に掛けてくれているのだなと感じます。

S 同窓会に望むことはどうでしょう。

Y 役員会の雰囲気有机会あるごとに、先生、生徒に伝えていますので、同窓会の人々が感じたことを遠慮なく言ってほしいということです。

S 柔道が都大会で優勝しましたね。柔道留学の講堂学舎の生徒を受け入れているから、弦中の柔道は強いのでしょうか。成績を教えてください。

Y 今年は国士館に勝ち、団体優勝。男子個人では78キロ超級で優勝と準優勝、78キロ級、68キロ級でも優勝と準優勝です。女子は56キロ級で優勝です。

S 特殊学級を持っていることも弦中の特徴だと思いますが。

Y 特殊学級はI組なのですが、先生がとても熱心に取り組み、それに応えて生徒も明るく成長しています。それが普通学級生徒にも良い影響を与え、偏見などはありません。弦中の体育大会の名物、各クラスが趣向をこらし競い合う「応援合戦」では、「ライバルはI組だ」と言われることもあるそうですよ。

これはI組の生徒がハンディーを抱えても一生懸命するからです。

S では最後に弦中の生徒に何を望むか、お聞かせください。

Y 弦中の生徒の特徴は明るく伸び伸びし、意欲的であること、これを一層引き継いで貰いたい。文武両道の精神を特色としてほしいと思います。

S 来年は弦巻中学、創立40周年を迎えるわけですが、同窓会としても弦中の発展をお祈りいたします。今日はどうも有難うございました。

つる 弦の子だより

二三日の通り雨

田中 主計 先生
(在任1955~1967年)

年寄りの昔語りは面白くないものだ。このご依頼もお断りしようと思ったが、その機を失した。駄文でご容赦願う。

開校当時、用務の鈴木金次さんは文字通り温厚篤実な方だった。

塩原への職員旅行の翌日、二人で那須へ足をのばした。黒磯駅に着くと前日と同じく雨。「また雨か」私の呟きに

「まあ、“二三日の通り雨”といえますから」と、いつも通りにニコニコして鈴木さんはいわれた。やまない雨はない、晴れるのをじっと待とう、の意味なのだろう。若くて未熟、しかもせっかちな私には素直にしみこむ言葉だった。

駅前で菊花展が催されていた。毎年、菊の季節になると、また、辛いことに出会う度に「二三日の通り雨」のことばと鈴木さんの温顔を思い出す。そして、今、こんな心にしみ込む言葉を、私は生徒たちに残せたかしら

——と自省している。

私の赴任した頃

浜田 総一郎 先生
(1955~1965年)

私が新卒で弦中に赴任したのが昭和30年4月で同校が新設校として池尻中と共に誕生をした年であった。

期待に胸をふくらませて赴任をしたがお世辞にもきれいな学校とはいえなかった。屋根は今にもくずれ落ちそうに波を打ち、教室は薄暗く天井からぶら下がった長いコードにいくつかがのはだか電球、二人用の長机、外に出ればグラウンドの真中を2m近い幅の川というか溝というかドブが流れ、西半分のグラウンドは草ぼうぼうでこぼこ、東半分は未整地の畠跡でところどころに肥だめがあり、へびも出てくる全くひどいものであった。

しかし、この年から初代見里校長を筆頭に全生徒、職員、父母が一致団結して地元地域の方々の協力を得て学校づくりがはじまった。

校舎グラウンドの改築整備、体育館・プール・天文館の新設など莫大な費用と数年を費やして多くの人々の善意で現在のような素晴ら

「ゲンマキ中」で発奮

片倉 弘雄 先生
(1960~1971年)
(1986~)

昭和30年に創立した弦巻中は、区内の中学校に遅れること8年。私は5年後の35年に転任してきた。東西に長い校舎が完成する直前でした。校庭のど真ん中を流れていた川は暗渠され、その姿を見ることはできなかったが、校庭の蛇崩川沿に榆が数10本と西門のヒマラヤ杉2~3本があるのみで花だんもなく創立の浅さが分った。そんな弦巻中も歴史を重ねること40年。正に40にして惑わずで区内でも有数の中学校に成長しました。若造教師の私に何ができるか悩んだ。子供達に1日も早く誇れるものをもと思い、それからというもののテニスに明け暮れる。2年目の夏、世田谷代表として都大会に出場。現在は有明テニスの森という素晴らしい会場があるが、当時は転々と変った。会場はお茶大附属中だった。2年生ながら3年を相手に破竹の勢いで勝ち進み決勝戦で残念にも1:2で惜敗。役員呼び出しから審判までが「ゲンマキ中」と呼ぶ。

準優勝の賞状に「鶴巻中」と書かれる始末で踏んだり蹴ったりで子供達のいかる心を押えツルマキ中の名を都に高々と轟かせるようじゃないか。そのためには来季こそ優勝旗を掌中にと心に誓い発奮する。それ以来ゲンマキ中と呼ばれることもなくなる。当時のことがつい昨日のように懐かしく思い出される。

しい学校ができたのである。特に一期生、二期三期生など数年間の卒業生は、つらかった夏休みあけの草むしり等も懐かしい思い出だろうと思います。パイオニア時代に巣立って行った卒業生や其の後巣立って行った卒業生達が、現在社会でそれぞれ立派に活躍をしている現状をみて非常に嬉しく思っている次第です。

後に続く後輩の皆さん、どうかよき伝統を引きつぎ、母校に誇りをもって学習面でもスポーツ面でもますます頑張ってください。

十年間勤めさせてもらった弦巻中学校に感謝します。

永遠の世界の平和
たゆみない輝く文化
もろともにこころあわせて
築こうよ力のかぎり
励む はげむ
われらの弦巻中学校

同窓会設立に思う

小池 源一 前校長
(1988～1993年)

物事を進める時の考え方に『段取り八分』という言葉がある。確かに準備をすることは容易でない。私が平成元年4月、弦巻中に赴任して間もない頃、PTA会長であった新川勝二氏から同窓会設立の話があった。新川氏は第一期の卒業生であり、その時は世中P連会長という重責にもあり、名実共に立派な方である。その提案は実行に移され、間もなく設立準備委員会が発足し、新川氏が委員長になった。『組織づくりは人なり』という言葉通り、準備委員になられた方々の献身的な活躍のおかげで、僅か一年足らずの超スピードで設立総会が開かれ、区内でも評判の同窓会が発足したわけである。

今日、第2回目の総会を迎えるまでに成長した同窓会は、基盤づくりがおわり、新川会長をはじめ、役員諸氏の努力のおかげで充実している。

一万余の卒業生がこの同窓会を支え、弦巻中がますます発展することを祈念している。

わたしは鮭

藤山 恵正
第四期卒業生

或る企業から“水の科学”というテーマで講演依頼があった。改めて最近の水に関する資料をいくつか取り寄せてみると、予想以上に我が国の源水の汚染状態は酷く、よって浄水場での塩素の投入量は増加するいっぽうで、毎日水道水を口にする消費者は自衛手段として、高価なミネラルウォーターを購入しているようだ。テレビジョンでは、連日山奥の清流を映し、あたかもその場で採水してボトルに詰めて販売しているかのイメージ広告で、販売量の増加を図っているが、実際は国道沿いの井戸水を汲み上げ過熱殺菌して販売をし



昭和34年頃のオンボロ校舎

弦巻中学校同窓会に思う

薄葉 家明 前教頭
(1992～1994年)

平成4年度より二年間、教頭としてお世話になりました。弦巻中学校では、同窓会の組織がしっかりつくられており、私の在動中は隔月に同窓会役員会が開かれていて、活動が定着していることを実感致しました。ここ迄同窓会を発展させた会長の新川氏をはじめ、役員や幹事の方々のご苦労は大変なものだったろうと思います。世田谷区はもちろんのこと、全都的にも公立中学校でこれだけ活動している同窓会は数少ないものと思います。卒業生も平成四年度で一万名を超えました。本校の卒業生の多くは、区内や近隣に生活の場を持っていると思われます。同窓会活動を通して、会員相互の親睦を図っていただき、あわせて、後輩や在校生への指導、援助もいただければ有難いと思います。

弦巻中学校同窓会のますますの発展を祈念致します。今後共、よろしくお願い致します。

ている。

魚の住める河川が減り、昔、弦巻中学校の帰り道に、メダカやザリガニ取り、蛙の卵などを同級生と泥だらけになって採取した蛇崩川は、今はコンクリートで蓋されてしまった。見た目は綺麗かもしれない風景だが、淋しいものだ。

鮭は生まれた川のミネラルの微妙な成分配合を記憶することで、その川に戻るが、私も鮭のように、風景は大きく変化してしまったが弦巻中学校が懐かしくて、東京に来た折りは必ず学校を見に来る。在学中には、今はもう無いが、カマボコ型の体育館が完成するまでの毎日の工事を楽しみに眺めたり、風が吹くとホコリだらけになる校庭、床を掃いているのか、床の透き間からゴミを落としているのか分からない掃除、木造から鉄筋四階建ての校舎への引っ越し、道具の足りないクラブ活動など……、子供らしさとちょっぴり大人びることが同居していた頃の出来事を思い出している。卒業式が近づいたある日、「将来この中学校は、君が卒業した学校だということ、君が偉くなって弦巻中学校を有名にしてください」と、校庭で語り掛けた担任だった本間隆夫先生の声が、生徒の居ない夜の学校から今でも聞こえてくるような気がする。

第2回同窓会総会のお知らせ

下記により第2回総会を開催いたしますので、同窓生をお誘い合わせて多数ご出席下さいます様ご案内申し上げます。

記

日時 平成6年11月13日(日)

午後2:00~4:30

場所 弦巻中学校体育館

会費 1500円(当日徴収いたします)

議題 1.活動報告 2.決算報告 3.活動計画
4.予算案 5.特別会費納入依頼の件
6.40周年記念行事への参加
7.役員改選

なお、特別企画として、バルセロナオリンピックで大活躍されました古賀稔彦選手(現日体大)と吉田秀彦選手(現新日鉄)のお二人のOBをお招きして、柔道の模範演技と講演をしていただく予定です。

又、以下の先生方が出席を予定しています

伊藤 栄子 薄葉 家明 岡崎 資格
岡田 孝正 柏木 俊雄 嘉村 寛子
嶋志田 義英 菅井 文一 田辺 春海
玉置 美栄 富樫 茂美 長野 剛夫
名取 幸一 野牧 百合子 福井 秀徳
村井 稔 村田 貫二 守屋 秀
山口 要人 吉田 洋 白井 顕
中島 聡 渡部 陽子 遊佐 勝一
秋田 仁 村瀬 幸平 辻 敏夫
宮川 秀世

敬称略

名簿が出来ました

—頒布のお知らせ—

1期から38期までの卒業生名簿です。

体裁 B-5版 約280ページ

(職業欄はありません)

価格 2000円(送料込み)

第1回受付 平成6年11月末日まで

総会当日会場でも販売いたしますが、郵送申し込みは、同封の振込用紙の通信欄に「名簿〇冊希望」と書いて必要金額をお振り込み下さい。

発送は12月中を予定しています。

特別会費納入にご協力を

皆様のご協力によって、平成3年に同窓会が発足し、名簿の整備も進み、第2回同窓会総会を開催する運びとなりました。

ところで、当同窓会最大の悩みは活動資金の不足にありまして、毎年の卒業生に納めていただく終身会費(年約20万円)だけでは、1万名を越す同窓生の会を支えていくことが困難な状況にあります。(別記参照)

弦中卒業生の絆を末長く維持するための同窓会活動にご理解いただき、今回も特別会費納入を改めてお願いする次第です。

お手数ですが所定の振込用紙を同封いたしましたので、宜しくお願いいたします。

会費1口 2000円(何口でも結構です)
対象の会員

1期(昭和32年卒)~34期(平成2年卒)

上記の件についてのご連絡は、弦巻中学校

川上教頭先生(3428)8381~2

までお願いします。

同窓会では3年に1度総会を開きます。その年は会誌の発行や名簿などで出費が多くなります。

そこで総会のある年を含めて3年間を単位として活動の計画を立てています。

〔活動内容〕

総会の開催、会誌の発行、名簿の整備・作成、幹事会・役員会等の維持活動、他

〔収支概算(3年間)〕

収入

卒業生約600名(1人1000円) 約60万円

支出

総会費用 約20万円

会誌発行及び会誌等郵送代 約120万円

母校へのお祝い(入学式、卒業式、

体育大会、学芸発表会)9万円

活動諸経費(幹事会、役員会の文具、

通信、茶菓子、交通費等)約30万円

計 約180万円

その他周年行事の費用等を含めると3年間で約120万円以上の不足が見込まれます。

弦巻中学校同窓会 会計報告

(平成3年総会後～平成6年3月31日)

収 入		支 出	
〔平成3年度〕			
平成3年総会後繰越金	¥ 1,595,383.	お祝い金 事務用品 (小計) 次期繰越金	¥ 15,000. ¥ 4,583. (¥ 19,583) ¥ 1,575,800.
	¥ 1,595,383.		¥ 1,595,383.
〔平成4年度〕			
前期繰越金 平成4年度卒業生 終身(37期)会費 特別会費	¥ 1,575,800. ¥ 242,790. ¥ 183,000.	お祝い金 通信費 事務用品 (小計) 次期繰越金	¥ 30,000. ¥ 5,672. ¥ 53,748. (¥ 89,420) ¥ 1,912,170.
	¥ 2,001,590.		¥ 2,001,590.
〔平成5年度〕			
前期繰越金 平成5年度卒業生 終身(38期)会費 特別会費	¥ 1,912,170. ¥ 265,790. ¥ 33,000.	お祝い金 通信費 事務用品 雑費 (小計) 次期繰越金	¥ 30,000. ¥ 22,792. ¥ 27,244. ¥ 1,600. (¥ 81,636) ¥ 2,129,324.
	¥ 2,210,960.		¥ 2,210,960.

平成6年7月23日 監査 吉楽 マサエ・森 明子

弦巻中学校同窓会 予算案

(平成6年4月1日～平成9年3月31日)

収 入		支 出	
H5年度繰越金 H6年度～H8年度 終身会費 特別会費	¥ 2,129,324. ¥ 639,000. (@1,000.×639人) ¥ 1,260,000. (@2,000.×630人)	H6年総会費 会報誌発行、郵送費 入学式等、祝い金 H7年40周年祝い金 役員会(年6回×3) 幹事会(年2回×3) その他諸費用合計 (小計) 予備費	¥ 200,000. ¥ 1,200,000. ¥ 90,000. ¥ 100,000. ¥ 300,000. (¥ 1,890,000) ¥ 2,138,324.
	¥ 4,028,324.		¥ 4,028,324.